

科目名 (科目番号)	臨床栄養教育論 (092241)	教員名 菊池浩子	学科等	保健栄養	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		D307研究室(菊池)		
授業概要	臨床栄養教育の対象は、傷病者と要介護者の個人と集団であり、実施の場所は、医療機関内あるいは対象者の住居内であることを理解し、必要に応じた対応が出来る能力を習得する。具体的には、管理栄養士の視点における疾患や病態の把握、チーム医療としてのゴール設定に基づく栄養介入の計画立案と介入効果判定、「栄養教育論」で既に習得している「行動科学的行動変容理論と技術」の応用的実施を学ぶ。合併症のあるモデル症例をクラスでアクティブラーニングの形態で検討しながら、管理栄養士として関わる栄養療法の可能性と限界を学ぶ。臨床栄養学と栄養教育論の総括的応用力の育成を行う。						
準備学習	毎回の授業について、(少なくとも)1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	チーム医療・在宅医療	到達目標: 栄養管理計画書の必要項目と書き方、栄養診断について理解できる。 学習内容: 臨床栄養的栄養管理は栄養教育と併用されると、栄養治療の効果が高いことを学ぶ。				
	2	臨床栄養教育の基礎(1)	到達目標: 栄養管理計画書の作成について、臨床検査値の活用が理解できる 学習内容: 栄養管理計画書の作成(臨床検査値の活用)について学ぶ。				
	3	臨床栄養教育の基礎(2)	到達目標: 栄養管理計画書の作成について、臨床栄養指導のポイントが理解できる 学習内容: 栄養管理計画書の作成(臨床栄養指導のポイント)について学ぶ。				
	4	傷病者・要介護者への臨床栄養教育(1)	到達目標: 低栄養状態の対象者の栄養管理と栄養指導のポイントが理解できる 学習内容: 低栄養状態の対象者の栄養管理と栄養指導のポイントについて学ぶ。				
	5	傷病者・要介護者への臨床栄養教育(2)	到達目標: 代謝性疾患の対象者の栄養管理と栄養指導のポイントが理解できる。 学習内容: 代謝性疾患の対象者の栄養管理と栄養指導のポイントについて学ぶ。				
	6	傷病者・要介護者への臨床栄養教育(3)	到達目標: 低栄養状態と代謝性疾患のモデル症例から栄養介入の重点把握を考察できる。 学習内容: 低栄養状態と代謝性疾患のモデル症例から栄養介入の重点把握を学ぶ。				
	7	傷病者・要介護者への臨床栄養教育(4)	到達目標: 循環器疾患の対象者の栄養管理と栄養指導のポイントが理解できる 学習内容: 循環器疾患の対象者の栄養管理と栄養指導のポイントについて学ぶ。				
	8	傷病者・要介護者への臨床栄養教育(5)	到達目標: 腎疾患の対象者の栄養管理と栄養指導のポイントが理解できる 学習内容: 腎疾患の対象者の栄養管理と栄養指導のポイントについて学ぶ。				
	9	傷病者・要介護者への臨床栄養教育(6)	到達目標: 循環器疾患と腎疾患のモデル症例から栄養介入の重点把握を考察できる。 学習内容: 循環器疾患と腎疾患のモデル症例から栄養介入の重点把握を学ぶ。				
	10	傷病者・要介護者への臨床栄養教育(7)	到達目標: 肝疾患の対象者の栄養管理と栄養指導のポイントが理解できる 学習内容: 肝疾患の対象者の栄養管理と栄養指導のポイントについて学ぶ。				
	11	傷病者・要介護者への臨床栄養教育(8)	到達目標: クリティカルケアの対象者の栄養管理と栄養指導のポイントが理解できる 学習内容: クリティカルケアの対象者の栄養管理と栄養指導のポイントについて学ぶ。				
	12	傷病者・要介護者への臨床栄養教育(9)	到達目標: 肝疾患とクリティカルケアのモデル症例から栄養介入の重点把握を考察できる。 学習内容: 肝疾患とクリティカルケアのモデル症例から栄養介入の重点把握を学ぶ。				
	13	臨床栄養教育の応用(1)	到達目標: 栄養介入が効果的である病態・疾患のモデル症例1で栄養介入の重点が考察できる。 学習内容: 栄養介入が効果的である病態・疾患のモデル症例1から栄養介入の重点把握を				
	14	臨床栄養教育の応用(2)	到達目標: 栄養介入が効果的である病態・疾患のモデル症例2で栄養介入の重点が考察できる。 学習内容: 栄養介入が効果的である病態・疾患のモデル症例2から栄養介入の重点把握を				
15	臨床栄養教育の応用(3)	到達目標: 栄養介入が効果的である病態・疾患のモデル症例3で栄養介入の重点が考察できる。 学習内容: 栄養介入が効果的である病態・疾患のモデル症例3から栄養介入の重点把握を					
成績評価の方法・基準	アクティブラーニングによる授業態度の評価: 評価表による評価(10%)、提出課題の評価: 評価表による評価(20%)、期末試験(80%)を総合的に判断して評価します。これらの項目の総合評価への寄与割合は、授業開始時に確認伝達します。						
教科書	指定しないが、教員が適宜プリントを配布する						
参考図書	メディカル栄養管理総説 健康行動理論の基礎		田花利雄、桑原節子ほか著 松本千秋著		第一出版 医歯薬出版株式会社		
教員からのメッセージ	学生さんの興味関心や、その他の必要に応じて、上記の内容を変更する場合があります。臨床栄養教育には、治療と予防の両面が含まれます。この授業では、疾患・病態の知識、食品や献立についての知識と技術、栄養教育論・カウンセリング論で習得した理論や技法の「統合的な活用」を学びます。対象者の治療道程を伴走する管理栄養士の存在価値を、一緒に考えていきます。班で作成したパンフレット(提出課題)は教員が目を通し評価したのちに授業(担当班の模擬授業)内で全員が使用(返却)します。						